

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	西澤一哲
	全体計画			経費区分	-	内線	3626
事務事業名	4302 創造の家管理事業						
所 属	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課						
施 策	04012000 生涯学習・文化芸術を核としたまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費					
	事業	010000 創造の家管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
勤労青少年の豊かで活力ある余暇活動の拠点として、また、学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。併せて、若年者が職業人、社会人として自立、成育するよう支援に努める。				施設の整備や植木の手入れ等を実施し、環境整備の充実が図れた。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
施設の整備や植木の手入れ等	施設の整備や植木の手入れ等
平成24年度 実績	平成25年度 実績
施設の整備や植木の手入れ等	施設の整備や植木の手入れ等
平成26年度 予定	平成27年度 予定
施設の整備や植木の手入れ等	施設の整備や植木の手入れ等

指標名 勤労青少年ホーム創造の家施設利用者数						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	実績	3,360	5,500	3,747		
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		12,574	11,110
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,574	11,110
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	2.0	2.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	5,450.0	5,450.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	5,450.0	5,450.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		18,024.0	16,560.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,511	消耗品144千、燃料費390千、食糧費12千、光熱水費848千、修繕費115千
13節 委託費	5,190	耐震診断委託料3,136千、警備保障委託料264千、その他委託料(病害虫・松剪定)388千、シルバー人材センター委託料1,400千
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	10	長野県勤労青少年ホーム連絡協議会負担金10千
その他	5,863	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,616	消耗品150千、燃料費413千、食糧費13千、光熱水費980千、修繕費60千
13節 委託費	2,138	警備保障委託料273千、その他委託料(病害虫・松剪定)600千、シルバー人材センター委託料1,265千
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	9	長野県勤労青少年ホーム連絡協議会負担金7千、会議出席負担金2千
その他	7,347	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	勤労青少年が学び交流する場にふさわしい施設の整備を行い、福祉の向上を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	平成25年度の施設利用の新規登録者は77名で、勤労青少年の全体の登録者は1,265人で年間を通して利用されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	向上
評価コメント	利用者団体代表者会議などで利用者の意見、要望を聞いて、運営している。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

施設の老朽化が進んでおり、修繕、補修への対応が必要である。

